

# 2020(令和 2)年度事業報告書

公益財団法人日本シルバーボランティアズ

## 1. 派遣事業（公1）

### 1) 一般地域への派遣事業概要

派遣国並びに派遣者総数は、ベトナム 22、タイ 4、カンボジア 4、ミャンマー 3、フィリピン 3、ウズベキスタン 1 の 37 名であった。

派遣専門分野は、日本語教師であった。

2020 年度はコロナ禍の影響を受けたものの関係先の協力も得て上記人数を派遣できた。コロナの収束は見通せないが、今後とも限られた派遣費用の有効利用を図るための諸施策の検討、会員の高齢化に対応しつつ、引き続き日本との経済・文化面の関係が深い東南アジア諸国を中心に、当財団ボランティアへの期待に応えるべく、派遣を継続して行きたい。

### 2) 中国への派遣事業概要

令和 2 年度はコロナ禍の直撃を受け、専門家派遣実績は 0 に終わった。中国大使館より JSV や主要会員にたいするマスクの支援から始まった令和 2 年度となった。北京市の第 2 級緊張状態や日本政府の緊急事態宣言等、日中双方の現状確認を定期的に行って来たが、日中往来が可能になる様な事態の改善は見られず厳しい感染状況が続いている。

令和元年に JSV の事業継承や合作の可能性に関して打診をしていた、対中国事業を行っている団体及び在京中国駐在機構等にも再度連絡を入れ、可能性の打診を行った。中国関連の団体はいずれもコロナ及び政治情勢の影響を受けて不振が続いており、打診に関する回答は厳しいものであった。

人民日報よりの依頼で 9 月に JSV 専門家の取材で会員を訪問し、12 月、3 月と記事掲載が 2 回実現している。毎年 4 月に深圳で開催されていた国際人材交流大会も遅れて開催され、9 月にネット上での展示会に参加した。

JSV の主要会員とも電話にて現状説明と今後の活動に関する意向を聞いている。厳しい環境ではあるが条件を整えば訪中の可能性はあるとの回答も少数ではあるが存在する。

北京窓口の科技交流中心とも定期的に情報交換をしており、節目にはチャットにて理事長よりも挨拶や状況確認を行った。科技中心側の意見としては、2021 年の専門家派遣に関しても、コロナの影響を受け実施は厳しいとの悲観的見方が現状では強い。

### 3) 国別派遣者数

東アジア	0名	(中国 0名)
東南アジア	36名	(ベトナム 22名、タイ 4名、カンボジア 4名、 フィリピン 3名、ミャンマー 3名)
中東	1名	(ウズベキスタン 1名)
合計	37名	(法人開設以来の派遣者数 5,304名) (令和元年度 56名 平成 30 年度 68 名 平成 29 年度 78 名)

### 4) 費用負担別派遣者数

中国	0名	(案件) (中国科学技術交流中心扱 0名)
法人の助成	37名	(霞会館 15名、尚友倶楽部 22名)

## 2. 事業推進に係る内外諸機関・団体との協力、交流、情報交換等(公1)

専門家派遣事業に係る内外諸機関・団体との協力、交流、情報交換等につき、以下の活動を行った。

### (1) 一般地域派遣：島村理事担当

#### 1) サクラ日本語学校

ベトナム派遣の現状と問題点につき、春日日本所長と打ち合わせを行った

#### 2) アルファ国際学院

派遣先の現状並びに当財団の将来を見据えた諸施策につき、梶浦学院長と打ち合わせを行った

### (2) 中国派遣： 荻野理事担当

#### 1) 中華人民共和国駐日本国大使館(4月)

入手が難しい状況の中、JSVにマスクを支援品として受領した。その後、国家友誼賞受賞者を始めとする主要会員にもマスクの支援を頂いた。

#### 2) 科技部外国専門家司(4月、9月)

例年4月に深圳に於いて開催される中国国際人材交流大会であるが、第18回大会はネット上で開催をする旨通知があり9月開催となった。

#### 3) 人民日報東京支局(9月、12月)

中国に貢献した日本人、中国の農民に寄せてとの命題で、JSV会員の紹介及び取材に協力した。長野県飯山市の塩崎三郎氏を9月に取材訪問し、12月に人民日報に掲載となった。また、香取茂男会員も記事掲載となっている。

#### 4) 中国科学技術交流中心(2020年度通年)

毎月定期連絡をチャットや電話にて行い、情報交換を行った。春から夏頃までは中国側は隔離政策の為に出勤停止となっていたが、秋口からは出勤も可能となっている。但し、海外はもとより国内出張も制限されており、2020年及び2021年上半期の日本よりの派遣業務は困難であるとの見解である。

#### 5) 他団体・協会との事業継承に関する打合せ(6-7月)

(公益財団法人)日本中国友好協会、(社団法人)日中協会、(公益社団法人)

日本技術士会、(NPO 法人) アジア中小企業協力機構、及び中国大使館科技担当書記官、中国国際人材交流協会、人民日報東京支社等在京中国政府関連駐在機関と、JSV の事業継承や協力関係の構築を打診するも、コロナ禍及び政治情勢の影響を受けて活動休止や運営が厳しい状態の団体が多く、新規の事業展開は難しいとの回答であった。

### 3. 助成金・寄付金・賛助金について (公1)

- (1) 助成金、賛助金、寄付金等による支援を頂いている関係団体、企業等に謝意表明および要請を行なった。

### 4. 広報事業 (公1)

- (1) 会報「JSV NEWS」No.97 (2020年5月) および No.98 (2020年11月) を編集、発行、当財団を支援頂いている関係機関、団体、企業、会員その他個人の方々に広く配布し、公益財団法人としての活動内容の周知に努めた。

### 5. 総務事項

#### 1) 内閣府 (公益認定等委員会)

- (1) 「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第22条第1項に基づく定期提出書類 (電子申請による)
  - ① 令和元年度事業報告等に係る提出書—令和2年6月29日に提出
  - ② 令和3年度事業計画書等に係る提出書—令和3年3月10日に提出

#### 2) 理事会・評議員会報告

##### (1) 理事会について

- ① 令和2年度 第1回理事会 (令和2年5月29日)
  1. 令和元年度事業報告書を承認可決した。
  2. 令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録を承認可決した。
  3. 令和2年度定時評議員会の招集を承認可決した。
  4. 理事長の職務執行状況報告がなされた。
- ② 令和2年度 第2回理事会 (令和2年6月24日)
  1. 代表理事 (理事長) の選定を行った。
- ③ 令和2年度 第3回理事会 (令和3年2月12日)

- 1.令和3年度理事（常勤）の報酬額を承認可決した。
- 2.令和3年度基本財産の一部勘定振替を承認可決した。
- 3.令和3年度事業計画書を承認可決した。
- 4.令和3年度収支予算書を承認可決した。
- 5.令和2年度第2回評議員会の招集を承認可決した。
- 6.理事長の職務執行状況報告がなされた。

(2) 評議員会について

① 令和2年度定時評議員会（令和2年6月24日）

1. 令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録を承認可決した。
2. 評議員・理事の選任を承認可決した。
3. 令和元年度事業報告がなされた。
4. 理事長の職務執行状況の報告がなされた。

② 令和2年度第2回評議員会（令和3年3月1日）

1. 令和3年度理事（常勤）の報酬額を承認可決した。
2. 基本財産の一部勘定振替を承認可決した。
3. 令和3年度事業計画書を承認可決した。
4. 令和3年度収支予算書を承認可決した。
5. 理事長の職務執行状況報告がなされた。

3) 役職員の現況について

期末現在の評議員数	4名（非常勤）
理事数	4名（内常勤3名）
監事数	1名（非常勤）
参与数	1名（非常勤）

4) 付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書は「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成しない。

日本技術士会、(NPO 法人) アジア中小企業協力機構、及び中国大使館科技担当書記官、中国国際人材交流協会、人民日報東京支社等在京中国政府関連駐在機関と、JSV の事業継承や協力関係の構築を打診するも、コロナ禍及び政治情勢の影響を受けて活動休止や運営が厳しい状態の団体が多く、新規の事業展開は難しいとの回答であった。

### 3. 助成金・寄付金・賛助金について (公1)

- (1) 助成金、賛助金、寄付金等による支援を頂いている関係団体、企業等に謝意表明および要請を行なった。

### 4. 広報事業 (公1)

- (1) 会報「JSV NEWS」No.97 (2020年5月) および No.98 (2020年11月) を編集、発行、当財団を支援頂いている関係機関、団体、企業、会員その他個人の方々に広く配布し、公益財団法人としての活動内容の周知に努めた。

### 5. 総務事項

#### 1) 内閣府 (公益認定等委員会)

- (1) 「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第22条第1項に基づく定期提出書類 (電子申請による)
  - ① 令和元年度事業報告等に係る提出書—令和2年6月29日に提出
  - ② 令和3年度事業計画書等に係る提出書—令和3年3月10日に提出

#### 2) 理事会・評議員会報告

- (1) 理事会について
  - ①令和2年度 第1回理事会 (令和2年5月29日)
    1. 令和元年度事業報告書を承認可決した。
    2. 令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録を承認可決した。
    3. 令和2年度定時評議員会の招集を承認可決した。
    4. 理事長の職務執行状況報告がなされた。
  - ②令和2年度 第2回理事会 (令和2年6月24日)
    - 1.代表理事 (理事長) の選定を行った。
  - ③令和2年度 第3回理事会 (令和3年2月12日)

- 1.令和3年度理事（常勤）の報酬額を承認可決した。
- 2.令和3年度基本財産の一部勘定振替を承認可決した。
- 3.令和3年度事業計画書を承認可決した。
- 4.令和3年度収支予算書を承認可決した。
- 5.令和2年度第2回評議員会の招集を承認可決した。
- 6.理事長の職務執行状況報告がなされた。

## (2) 評議員会について

### ① 令和2年度定時評議員会（令和2年6月24日）

1. 令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録を承認可決した。
2. 評議員・理事の選任を承認可決した。
3. 令和元年度事業報告がなされた。
4. 理事長の職務執行状況の報告がなされた。

### ② 令和2年度第2回評議員会（令和3年3月1日）

1. 令和3年度理事（常勤）の報酬額を承認可決した。
2. 基本財産の一部勘定振替を承認可決した。
3. 令和3年度事業計画書を承認可決した。
4. 令和3年度収支予算書を承認可決した。
5. 理事長の職務執行状況報告がなされた。

## 3) 役職員の現況について

期末現在の評議員数	4名（非常勤）
理事数	4名（内常勤3名）
監事数	1名（非常勤）
参与数	1名（非常勤）

## 4) 付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書は「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成しない。